

【発行】徳島市幸町 3-3-7
全日本建設交運一般労働組合
徳島県本部建設山林支部
電話 088-622-4347
FAX 088-625-9529

やまびこ

建設山林支部機関紙

第236号

2017/9/1

分会長会議・
執行委員会

組織の拡大と強化をはかろう

8月24日午後1時より、美馬福祉センターにおいて第39期第1回分会長会議・第6回執行委員会を開催、20名が出席しました。

1. 全国労職部会総会の報告

この一年、全国では相談会を211会場で行い、566名がおとずれ、うち組合加入したのは153名。また全国での労災認定件数を報告。トンネルじん肺根絶闘争、各ブロックの労働局要請などを報告しました。

2. 四国労災部会代表者会議の報告

4県の現勢と拡大数、労災認定件数を報告しました。

3. 労災認定、請求状況

- ・認定 振動障害4件、難聴10件
- ・請求 振動障害1件、難聴3件
じん肺遺族3件、他
- ・再審査請求 4件

4. 労災をめぐる状況

振動障害の「経過観察」終了後に「症状が悪化した」として「治療継続」となる事案が今年もありました。また再検査で主治医に判断を仰ぐ事案もあります。

5. 組織拡大と強化

- ・拡大報奨金制度適用者は2名。
- ・脱退者、組合費未納者の対応を話し合いました。

6. モラル

治療に専念することと、軽快したら機能訓練、社会復帰に向けて努力することなどを再確認しました。

7. トンネルじん肺基金制度

私たちの「基金制度」が、日建連と弁護団・原告団の「協議」により、ブレないようきちんと報告してほしいと意見がありました。

8. 第28回じん肺キャラバン

日程案を示し、各分会の協力で今年も実施することを確認しました。

9. 第40回定期総会

11月8日（水）池田総合体育館で開催。全組合員と家族が参加対象。



どんどん紹介して
ね～！



←会議の様子

四国労災部会 第18回代表者会議を開催

四国労災部会は8月4日午後1時より池田あわの抄で第18回代表者会議を開催、四国四県から60名が参加しました。

来賓の日本共産党徳島県委員会の久保たかゆきさん、徳島労連議長の山本正美さんから挨拶を、西部診療所の石川長英医師からメッセージをいただきました。

竹内事務局長から四国部会の一年間の活動報告と会計報告があり、提案された次期の運動方針

案と予算案などすべて確認・議決されました。各県の報告は次の通りです。(抜粋・要旨)

《愛媛》 健康相談会は、開催する自治体のすべてで「後援」が承認され、相談者と加入者は昨年よりも多かった。トンネルじん肺根絶第4陣は1月に全員和解となった。

《高知》 相談会は自治体のイベントの出展者として開催できるところもあり、職業病り患者の救済にとりくむ建交労を広く宣伝できた。高知労働局要請では、振動障害利用者に対しては「あくまで主治医による判断を尊重し、直ちに打ち切りはしない」という回答があった。

《香川》 今裁判で係争中の神島化学工業の元従業員の訪問活動や、健康相談会への紹介活動など拡大に積極的に取り組んでいる。神島アスベスト裁判の支援を引き続きお願いします。

《徳島》 振動障害35号調査と治療継続は「主治医の判断を尊重する」ことを確認し、経過観察後の治療継続の事案が今年もあった。



↑代表者会議の様子。山田真希さんが徳島報告をしました。議長は三好分会の山田正行さんと高知の山崎正人さん。会計監査報告を半田分会の中村さんと香川の亀井さんが行いました。



↑代表者会議の様子

★役員体制★

部会長	大西哲史 (愛媛)
副部会長	井上玉紀 (徳島)
	小野真史 (香川)
事務局長	竹内大将 (高知)
事務局次長	山田真希 (徳島)
運営委員	山崎正人 (高知)
	新田謙二 (愛媛)
会計監査	中村忠義 (徳島)
	森澤信彦 (香川)

今期の運動方針のうち、拡大については全国労職部会同様「目標は10%の純増」です。四国四県では拡大するものの労災打ち切り、死亡などが続いています。「純増」の拡大は並大抵ではありませんが、今期も各県・各地域で奮闘しましょう。

香川労働局へ要請

8月3日四国労災部会は、香川の組合員さんと部会役員で労働災害防止と安全衛生、労働補償行政の充実と振動障害・じん肺などの職業病に関する予防と対策を求め、25項目に渡り要請を行いました。その中で、振動障害者の療養について報告します。(山田真希)

◇振動障害◇(28年度末)

《療養者数》 39名 (県内12名)

《治療年数》

- ・ 4年未満 1名 ・ 4年以上 8名
- ・ 10年以上 30名



お薬の飲み合わせ

薬を飲むとき、注意することは「薬どうしの飲み合わせ」です。効果が高い医薬品同士の相互作用は、食品とはけた違いの強さで起こります。内科にかかるだけでなく、皮膚科や眼科など専門の医師から薬が出たとき、同じ効果を持つ薬が重なったり、副作用が強められる組み合わせもあります。かかりつけの薬局を決め、「お薬手帳」も一冊にしましょう。診察の時に医師に手帳を見せることも大切です。(「しんぶん赤旗」記事より)

平和を願って

第63回日本母親大会 岩手

8月19～20日岩手県盛岡市で開催され、全国からのべ1万人、徳島から28名が参加しました。東日本大震災の被災地開催ということで、全体会の来賓挨拶や記念講演では、6年前の津波とその被害、復興のことが多く語られました。

津波から命をまもるには

徳島は18日、多くの子どもたちが犠牲となった仙台市の大川小学校跡地を視察しました。今も小学校跡地だけが残されています。

小学校校庭のすぐ横には、小高い山があり、地震直後に逃げようと思えばいくらでも走り登れる山でした。授業でもシイタケ栽培などして慣れ親しんだ山です。視察団バスから降りてその地を見た瞬間、私は「なぜ山に逃げなかったのか」と、しばらくの時間校庭で待機していた子どもたちのことを思い、胸が締めつけられました。被害の実態は、行ってみなければわからないことでした。(井上)



↑会場には全国の女性たちがぎっしり。来年8月にはこの大会が高知で開催予定。「四国はひとつ」で今からファイト!

世界から核兵器をなくそう 全国青年部キャラバンが徳島入り

8月3日夕方徳島駅前で、建交労全国青年部による「反核トラックキャラバン」がとりくまれ、東京、大阪からの青年らと徳島県本部は、核兵器廃絶を訴える署名と宣伝行動を行いました。青年部は7月末～8月4日の広島まで車を走らせました。(写真/徳島駅前にて宣伝)



署名の
お願い

岐阜神岡鉱山じん肺訴訟 公正な判決を

岐阜の建交労の仲間がたたかっている神岡鉱山じん肺訴訟は、今から8年も前の平成21年5月に、会社じん肺被害の損害賠償と謝罪を求めて裁判を起しました。第1陣のたたかいは最高裁まで争われ、原告らの「健康被害」と損害賠償を認定する判決が出されましたが、会社は原告らを「じん肺ではない」「CT画像を出せ」などと主張し続け、不当な判断がされました。その後の第2陣訴訟でも、**原告8人全員がじん肺り患を否定されています。亡くなられた1人は剖検を行い、今医師の意見書を準備中です。**

岐阜の仲間は、他のじん肺患者と同じように、管理区分決定と労災が認定され現在も療養中です。岐阜地裁に対して第2陣訴訟の公正な判決を求める署名を全国で取りくんでいます。この神岡じん肺については、これまでにもう何度もみなさんに署名のご協力をお願いし、その都度徳島から岐阜に届けてきましたが、今回もどうかご協力くださいますようお願いいたします。じん肺療養患者にとってこの岐阜地裁判決もまた今後大きく影響することが予想されます。

県外在住の方は返信用封筒をご利用ください。9月末までに返信ください。

8月の報告

- 8/22 いのけん中四国会議（岡山／井上）
- 23 県本部常勤会議（井上、山田、岩本）
- 30 徳島県生病人院要請（井上、岩本）
- 31 じん肺遺族年金審査請求審理（高松／山田）

◆ ビラおり機を購入 ◆

ビラおり機を各支部が使うため、新しく購入しました。大藤分会からのカンパ金を代金の一部にあてました。ありがとうございました。



↑徳島事務所1階に置きました

★★9月の予定★★

- 9/2～4 建交労第19回定期大会（群馬）
- 5 14時半 神島アスベスト裁判（高松）
- 8 10時 新組合員学習会（西事務所）
- 11 10時 山城集会
- 13 13時 池田集会
- 13 9時半 県本部執行委員会
- 15 13時 徳島集会
- 16 10時 三加茂集会
- 21 10時 貞光集会
- 10時 海部集会
- 24 午前 第7回執行委員会（徳島）
- 午後 県本部第19回定期大会（徳島）
- 26 10時 美馬集会
- 27～28 トンネルじん肺根絶東京裁判
- ※徳島県生病人院定期協議会
- ※西部診療所定期協議会
- 10/2～6 なくせじん肺県内キャラバン

《後記》 まだまだ暑い毎日ですが、今年の立秋は8月7日でした。立秋を境に「暑中見舞い」が「残暑見舞い」になったりします。お盆を過ぎるとなるほど、朝夕の風や太陽の傾き加減が少しずつ秋へと移っているのがわかります。おいしいお米や果物も楽しみな季節ですね。

今月からは中央や県本部、支部の定期総会、じん肺キャラバンなどのとりくみが続きます。「実りある秋」にするために奮闘します。（井上）